



パワーポイント利用状況調査報告書

パワーポイント用途と使用状況についてのアンケート調査報告



調査計画

■ 調査目的

ビジネスや教育シーンの中で、パワーポイントは多様なコンテンツの制作に利用されていますが、実際にどのような用途で使われることが多いのかは知られていません。

また、多様な資料やプレゼンテーションを効率的に作成するためには、パワーポイントのテンプレート操作が欠かせませんが、実際にどのぐらいの数の人達が正しく利用できているかは不明です。

本調査は、パワーポイントを効果的かつ効率的に利用するために、必要となる環境やスキルを把握するために実施しました。

■ 調査方法

● 調査手法

インターネット消費者パネルを対象にサンプリングしたアンケートによる定量調査

● サンプルングパネル

1. マーケティングジャンクション社・登録アンケートパネル
2. クロス・マーケティング社・登録アンケートパネル

● サンプルング条件

- ・ 仕事でパワーポイントを使用することがある男女

実施内容

設問項目

● スクリーニング調査

1. 仕事でのPCの使用状況
2. 仕事でのパワーポイントの使用状況

● Face

1. 職種
2. 性別
3. 年代

● 本調査

1. パワーポイントの使用目的
2. 最も多いパワーポイントの使用目的
3. スライドマスター機能の使用状況
4. パワーポイントで作ったことがある資料等

サンプリング結果

● 仕事でのPC使用

	N	%
全体	1232	100%
ある	766	62%
ほぼない・全くない	154	13%
仕事をしていない	312	25%

● 仕事でのパワーポイント使用

	N	%
全体	766	100%
ある※	338	44%
ない	428	56%

調査パネルを対象にスクリーニング調査を実施。か
いとうのあった1232人より、仕事でPCを使いパワー
ポイントを使用する**338人を対象に本調査を実施**
しました。

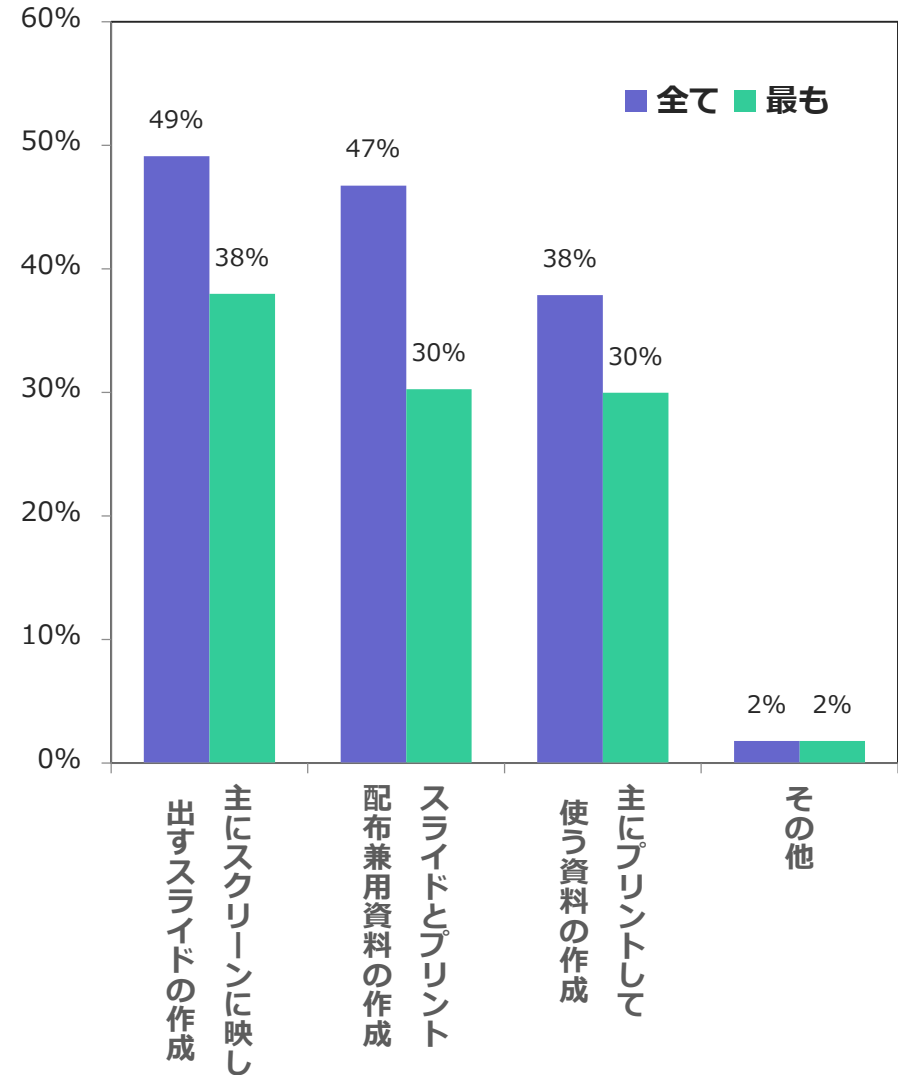
※2019年3月に調査実施

調査結果

1. パワーポイントの使用目的

スライドプレゼンテーションの制作用に開発されたパワーポイントですが、日本のビジネスシーンでは、プリント配布する資料の作成にも多用されています。その特徴は以下のとおりです。

- 約半数が投影用のスライド作成に使用
- 半数弱がスライドとプリント兼用資料の作成に使用
- 最もよく使用する目的は「投影用スライド」「スライド」「プリント兼用・プリント用資料」が、ほぼ1/3ずつに分かれています。



Q

パワーポイントの使用目的について、全てお選びください。(MA)

パワーポイントの使用目的について、最も多いものをお選びください。(SA)

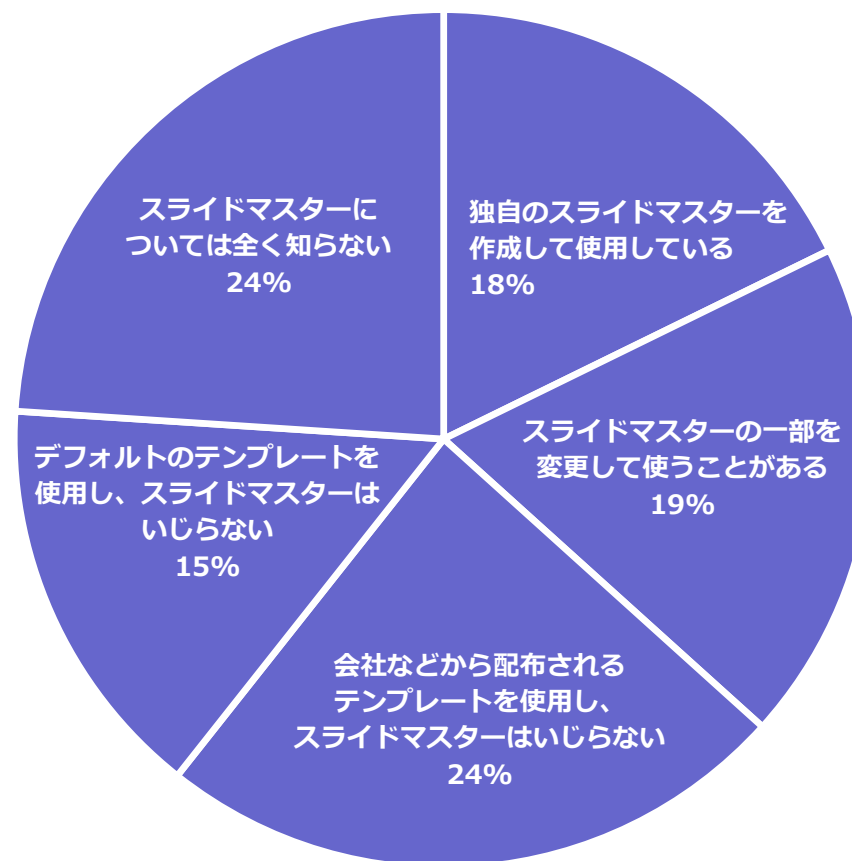
2.スライドマスター機能の使用状況

パワーポイントを使用する際、資料全体の統一感をもたせるために、また、効率的に作業するためにも、テンプレートを使用することは大切です。

しかし、パワーポイントのデフォルトのテンプレート（スライドマスター）は、比較的大きめのスライドプレゼンテーション用にできており、配布資料やスライドと配布兼用資料を作成するには不便なものです。

そのため、デフォルトを変更するためのスライドマスター操作は、重要なテクニックになります。

しかしながら、調査の結果からは、およそ**全体の2/3が、スライドマスターを使用していない**ことがわかりました。



Q

パワーポイントのスライドマスター機能は使いますか？最もあてはまるものを1つお選びください。
(SA)

2.スライドマスター機能の使用状況（つづき）

最もよく使用する目的別に、スライドマスターの使用状況を見てみます。

主にスライド作成に使用している人では、独自のマスターを使用している人が多めです。

スライドと配布の兼用資料で使用する人では、マスターの一部を変更して使用している人が目立ちます。

主にプリントする資料を作成している人では、スライドマスターを全く知らない人が半数弱になります。

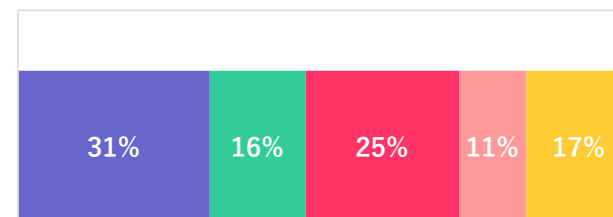
デフォルトに比べ、小さな文字を使用し、書籍等の読みものに近い、**編集デザインの考え方が必要なプリント資料の作成現場で、この作業を快適にするスライドマスター技術が使われていない状況がわかります。**

Q

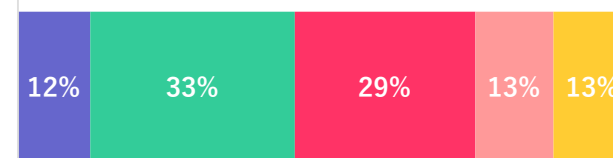
パワーポイントのスライドマスター機能は使いますか？最もあてはまるものを1つお選びください。
(SA)

- 独自のマスターを使用
- マスターの一部を変更して使用
- 会社等のテンプレを使用しマスター不使用
- デフォルトを使用しマスター不使用
- スライドマスターは全く知らない

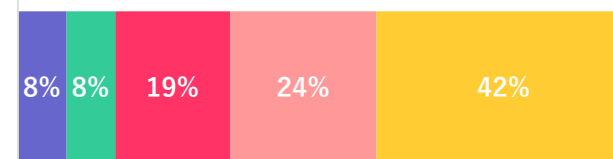
主にスクリーンに
映し出す
スライドの作成



スクリーン投影と
プリント配布の
兼用資料の作成



主にプリントして
使う資料の作成



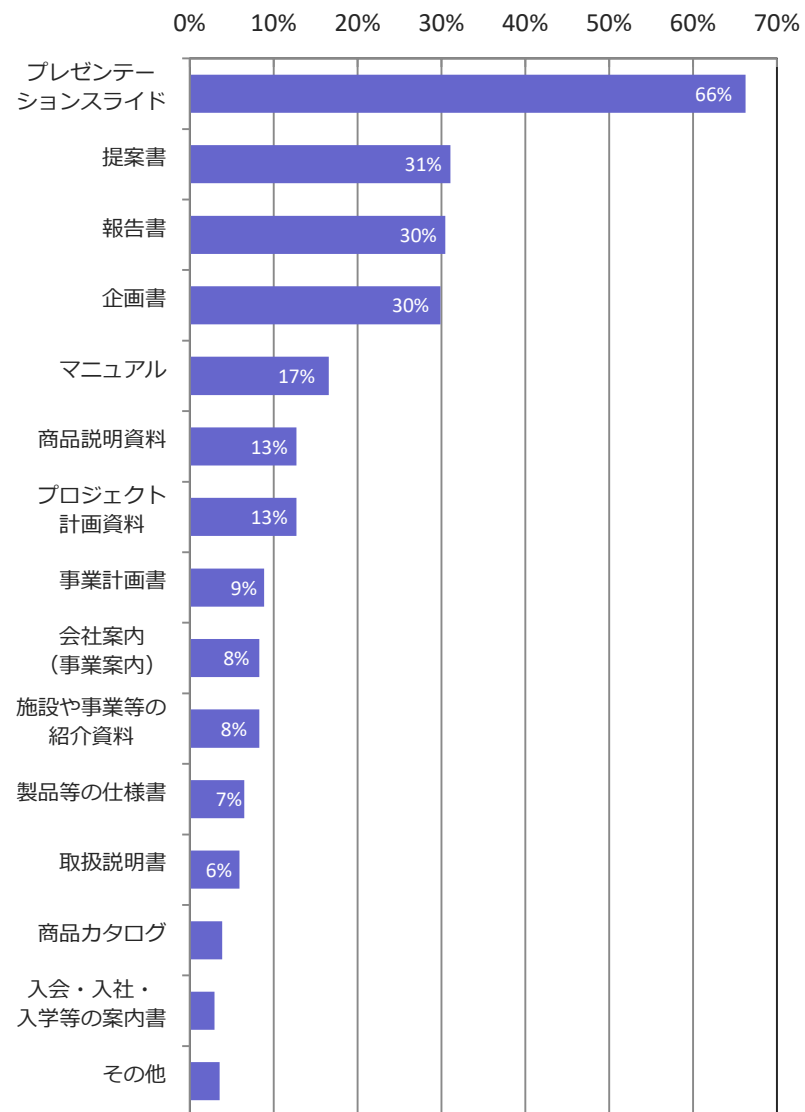
3.パワーポイントで作ったことがある資料等

複数回答のため、一人あたり2.2項目を選択しています。

全体の2/3が、プレゼンテーションスライドの制作経験があります。

次いで、提案書、報告書、企画書といった、特定の人に向けたプレゼンテーション系の資料が、すべて30%程度で並んでいます。これらの資料は、スライドと配布兼用で使われることが多い資料です。

マニュアル以下には、主にプリントして使用されると思われる資料が並んでいて、業種や業務内容によって様々な使われ方がされている様子が伺えます。



Q

パワーポイントで作ったことがあるものを全てお選びください。(MA)

4. 考察

■ 概観

マイクロソフト パワーポイントは、1987年に Forethought社がApple社のMacintosh用に開発したプレゼンテーション用アプリケーションで、開発時の名称は「Presenter」です。このリリース直後に、マイクロソフト社に会社ごと買収されています。

アプリケーションの基本的な特徴は、30年を経ても大きく変わらず、特にデフォルトのテンプレートなどは、画面比率の変化はありますが、スライドプレゼンテーションを意識したもので、大きくは変わっていません。

エクセルとワードに次ぐ、ビジネス定番アプリとして浸透していますが、本来のスライドプレゼンテーション以外に、ビジネス用ドキュメントの作成ツールとして使用されており、その内容は本調査結果からディテールが浮かび上がっています。

この背景には、Adobe社製品のような、本格的なDTPツールの使用は、予算的にも技術的にも難しい中、画像・図形と文字の加工やレイアウトが容易なパワーポイントが、ビジネス用の簡易DTPアプリとして使用されている様子が見えています。

■ 業務使用での課題

スライドの制作を目的に開発されたパワーポイントは、大きな文字を使い、レイアウトルールも比較的自由な投影専用のスライドを作るのに適しています。

▶ スライド作成上の問題点は少ない

プリント配布用資料には、書籍に準じた“編集デザイン”のルールが求められるますが、パワーポイントのデフォルトは、これに適していません。

▶ スライドマスターを操作できる人を増やす

▶ 会社独自のテンプレート支給も検討

投影・プリント兼用資料作成の課題は、プリント資料に準じますが、「兼用」のためのデザインや考え方は、あまり普及していません。

▶ 兼用資料デザインの確立と浸透が必要

2019年5月

株式会社マーケティングジャンクション 吉澤

